

令和4年4月から

「スタディサプリ」 導入予定

説明・体験・アンケート

令和4年3月22日・23日

講義動画×テスト教材×課題配信機能の掛け合わせで一人ひとりの生徒の可能性を切り拓く

リクルート資料

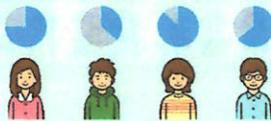
スタディサプリのご案内

スタディサプリは、「学びたい」「学んでよかった」がもっと増えていく世界の実現を目指しています。

①スタディサプリ小中自治体向けサービスとは？

①個別最適学習×②ドリル+動画教材×③継続的活用サポートの3点を魅力として、小中の教育を担う自治体向けに最適化したICT学習サービスです。ご導入人数によっては、導入しやすい低価格にてご案内することが可能です。

1 個別最適学習



定着度に応じた教材を自動提示

児童・生徒の定着度に応じて最適な課題を配信できるシステムで個別最適学習が簡単にできます

2 ドリル+動画教材



ドリル学習だけではできない概念の理解による基礎学力の向上を充実した動画学習で実現します

3 継続的活用サポート

リクルート 担当者

教育委員会様

各学校（管理職・担当者・先生方）

アカウントを提供するだけでなく、『児童・生徒に使っていただける』ように継続的に活用サポートいたします。

②スタディサプリの主な機能と活用方法とは？

WEBテスト教材、動画教材、配信・管理機能の3つがスタディサプリの主な機能です。
これらの機能により、個別最適なつまずき克服学習、自主学習活用、動画教材を活用した学習課題の配信を実現できます。

WEBテスト教材



- WEB単元テストでつまずき把握
- 動画に紐付いたWEB確認テスト
- 演習ドリルとしても活用可能
- 約4,100本のドリルが受け放題

個々の理解度の把握

動画教材



- 厳選したわかりやすい講師陣
- 小学4教科・中学5教科対応
- 5,300本以上の動画が見放題

個別最適学習

自主学習・主体的な学習

動画で学習

配信・管理機能



- 個別最適な課題の配信
- クラスへの一斉課題の配信
- 自主学習を含む学習履歴の管理

学習履歴の確認

学習履歴の確認

課題の配信

理解度を確認



スタディサプリ小学講座・中学講座 活用事例集

株式会社リクルート
まなび事業統括本部 公教育支援グループ

知識・技能

思考力・判断力・表現力

学びに向かう力・人間性

東京都・区立小学校/中学校

確認テストで単元の習熟度を把握して指導に生かす

■活用のPOINT

1. 授業内容に対応する確認テストを宿題配信する
2. for TEACHERSの宿題詳細画面で確認テストの正答率を確認し、習熟度を把握する
3. 把握した習熟度を、次回の授業の構成や追加課題に反映する

■活用状況

活用シーン：授業中

学年：小学4～6年生/中学1～3年生

利用機能：宿題配信(確認テストのみ)

宿題分析画面

■活用方法

まず最初に、学校において**授業内容とスタディサプリの講義の対応一覧表**を作成します。これをもとに、各授業の最後に、その授業内容に対応する確認テストを宿題配信することにより、授業の進度に合わせて確認テストに取り組みさせます。

▼授業内容とスタディサプリの講義の対応一覧表(イメージ)

授業内容とスタディサプリの講義の対応一覧表のイメージ。表には授業内容と対応するスタディサプリの講義が記載されている。

確認テストの結果は、自動で採点・集計され、for TEACHERSの宿題詳細画面で確認できます。確認テストの正答率で習熟度を簡単に把握できるため、習熟度に応じて次回の授業で補足したり、追加課題を出したりするなど、指導に生かすことができます。

▼for TEACHERS宿題分析画面

for TEACHERS宿題分析画面のスクリーンショット。画面上部にはナビゲーションメニューがあり、下部には宿題分析のデータが表形式で表示されている。

※画像はイメージであり、実際の画面ではありません。



注意事項があります

「スタディサプリ」の導入にあたって

- ・授業の代わりになるものではありません。
- ・これを使ったら学力がつくものでもありません。
- ・家庭学習をしなくてよいとはなりません。
- ・学習塾や家庭教師の替わりになるものでもありません。

勉強や部活動

「質と量」が大事

であることは皆も承知のこと

今、先生が考えているのは

1. 生徒の実態把握（単元を始める前等）

→先生たちの授業づくり

『生徒のための「よりよい授業づくり」』

2. 小テスト、単元テストの実施

→授業後、単元終了後のテストで定着度をみる

（一部テストのデジタル化：先生たちの働き方改革）

これから、みんなと考えていきたいのは

1. 授業づくり
基礎基本の充実、対話的で深い学びに向けて
2. 家庭学習
宿題、自主学習の充実に向けて(学習委員会の活動)
3. 自己実現(個別最適化)
家庭学習や長期休業中に自分の得意分野の伸長
不得意教科への取組

● 導入金額(保護者負担)

・個人申込

ベーシックコース 【月額】1,980円 税込み 2,178円
【年額】26,136円

個別指導コース 【月額】9,800円 税込み 10,780円
【年額】129,360円

・学校申込 【年額】 528円

※教科書ワーク・問題集と同等または安い(1教科)

教材として導入